

# 指定管理者評価票

年度	令和4年度
担当部署	教育部 図書館 文化財担当

## 1 公の施設

施設名称	瑞穂町郷土資料館		
所在地	瑞穂町駒形富士山316-5		
施設概要	敷地面積 4,388.36㎡ 郷土資料館：建築面積1,729.57㎡ 延べ面積2,201.28㎡ 1階：事務室、常設展示室、企画展示室、多目的室、会議室、体験学習室、 ガイダンスホール、整理作業室、調査室、燻蒸室、荷解室、収蔵庫、 特別収蔵庫、倉庫 2階：会議室、展示ギャラリー、収蔵庫、書庫 四阿：建築面積12.96㎡ 井戸上屋：建築面積6.25㎡		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成26年6月30日完成	導入後	9 年経過

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	アクティオ株式会社			
	所在地	目黒区東山一丁目5番4号 KDX中目黒ビル6階			
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	選定方法	公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	郷土資料館の管理運営を効率的かつ効果的に行うため、指定管理者制度を導入します。				
指定管理の業務内容	1 事業の実施に関する業務 2 施設等の使用の許可に関する業務 3 施設等の維持管理に関する業務 4 利用料金の収受				

## 3 施設の利用状況

(単位：人、日、円)

利用状況（量）を示す指標名	前指定末 平成30年度	指定期間中の実績				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
① 町内在住者	19,466	20,129	8,873	11,693	15,307	
② 町外在住者	26,200	19,196	9,300	12,636	15,559	
③ 貸出日数	145	137	41	73	104	
④ 利用料収入	295,225	285,655	86,220	144,010	154,570	
⑤ その他収入	214,245	264,731	237,719	261,198	214,696	

## 4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

(単位：円)

		前指定末 平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入	指定管理料	58,726,000	60,863,000	59,869,000	59,933,000	61,525,000	
	利用料金収入	295,225	285,655	86,220	144,010	154,570	
	その他	214,245	264,731	237,719	261,198	214,696	
	計	59,235,470	61,413,386	60,192,939	60,338,208	61,894,266	
支出	支出	59,235,470	61,413,386	60,192,939	60,338,208	61,894,266	
	うち修繕費	612,248	274,152	717,860	910,721	650,510	
	うち人件費	21,720,545	22,379,656	23,322,749	24,288,505	24,129,278	
	その他	36,902,677	38,759,578	36,152,330	35,138,982	37,114,478	

## 5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	令和元年度	伝承の広場に設置している時計モニュメント不具合について、基盤点検の必要ありとの指摘から点検・修理を依頼した。
	令和2年度	新型コロナ感染拡大防止対策として、図書コーナーに設置しているテーブルセット2台とぬり絵・折り紙等を撤収する。 瑞穂の民家の天井竹部材に害虫が発生、駆除作業を行う。
	令和3年度	瑞穂の民家の天井竹部材虫害部分を切除、薬剤を塗布する。ヒラタキクイムシによる食害のため、切除部分は専門業者による経過観察を行う。
	令和4年度	体験学習室温水器について、製造から8年経過のため交換時期が近づいているとの指摘あり。また、建物周辺の落葉処理のためシルバー人材センターへ業務を発注した。
	令和5年度	
事務改善及び効率化等に 関すること	令和元年度	チラシ作成については、自主制作可能なものは外注制作を行わないよう努めた。印刷納期も最長にし安価に仕上げ、コスト削減に努めた。
	令和2年度	新型コロナ感染拡大防止対策として、開催事業に人数制限を設け実施した。企画展等は、ブログやFacebookで情報発信をし、SNS世代にも興味・関心を持ってもらえるよう取り組んだ。
	令和3年度	企画展やミニ展示等を多くの方に知っていただくため、情報発信ツールとして新たにinstagramを導入した。また、コミュニティバス車内への広告掲載などの新たな取り組みを行った。
	令和4年度	新型コロナの感染状況を踏まえ、徐々に開催事業の人数制限の緩和を行うなど、状況に応じた運営を行った。また、令和5年1月から夜間開館を廃止し、実態に合った開館時間への変更を行った。
	令和5年度	
利用状況に関する こと	令和元年度	親子で参加できる事業の他、幅広い年齢層が参加できる事業を実施し、利用者増に取り組んだ。また1月18日には来館者20万人を達成した。
	令和2年度	新型コロナ感染拡大防止対策のため、様々な予防策を講じることを優先とする一年だった。満員でのイベント開催はできず、収入増に繋げることも難しかった。開催できたイベントについては、講師の評判も大変良く、次年度に繋がる企画になった。
	令和3年度	新型コロナ感染拡大防止対策を施しながらも、事業を中止することなく実施することができた。常設展示室の接触型機器を感染防止のため中止にしていたが、タッチペンを導入し非接触型にして使用可能とした。
	令和4年度	コロナ感染者が減少に向かったことで、つるし飾り期間の来館者数もコロナ前の6割程度までに戻った。令和5年1月から夜間開館を廃止したが、年間来館者数は前年度を上回った。
	令和5年度	

## 6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
算定	指定後	61,038,000	60,044,000	64,894,100	61,700,000	
	前指定末（平成30年度）	58,901,000	58,901,000	58,901,000	58,901,000	
	比較	2,137,000	1,143,000	5,993,100	2,799,000	
実経費	指定後	60,863,000	59,869,000	64,135,000	61,525,000	
	前指定末（平成30年度）	58,726,000	58,726,000	58,726,000	58,726,000	
	比較	2,137,000	1,143,000	5,409,000	2,799,000	

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・条列で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	事項通り実施	5	協定書・仕様書で示した事項を適切に履行している。
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	5	修繕が必要な箇所についてなど適宜行っていることから適切と思われる。	5	日々の維持管理から修繕対応まで適切に行われている。
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。指定管理料は適正か など	4	電気料金の高騰で予算以上の金額になった。	5	開館時間の変更に伴う指定管理料の減額、電気料金高騰に伴う増額など、協議を行いながら適切に対応した。
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	随時適切に行っていた。	5	適切に行われた。
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など 利用者の満足度を得られているか。 ・職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	コロナの感染状況によって、参加者人数を満せない事業もあったが、参加者の90%以上から満足度の高いお声をいただいている。職員の接客態度についても「良くない」の指摘はほぼないと認識している。	5	コロナ対策を継続しつつもすべての事業を実施し、かつ参加者からの評価も高かった。年間来館者数も前年度比127%となった。
	施設の稼働状況（稼働日数・貸出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか など	5	機織り探検隊などの事業について、チラシ作成などを行うなど連携した事業展開を行っている。その他文化財に関することにも積極的に協力をしている。	5	施設の設置目的に則した、適切な運営が行われている。
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・営業努力の状況は認められるか など	5	年間計画通りに事業を実施したが、やはりコロナ感染者の増加時期には100%の成果を得ることが困難であった。	5	貸室や講座への参加人数の制限などの感染拡大防止対策を取りつつも、年間計画に基づき事業を実施した。
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・経営状況は安定しているか など	5	突発的な修繕などが発生しない限り、安定した収支状況だったと思われる。	5	電気料金高騰などの外的要因による圧迫はあったものの、指定管理委託料の増額を行ったため、経営状況への影響は最小限に抑えられたものと判断できる。	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	コロナ対応で人数を制限して行ったイベントに対して、「人数を減らしての実施で安心して参加できた」などの声を多くいただいた。	5	来館者の意見などですぐに対応できるものは適切に対応している。
	プログラム等質の改善	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	コロナ対応で図書コーナーのテーブルセットの使用を中止していたが、テーブルを展示台として活用、図書コーナー前を展示スペースとして活用するなどの工夫をした。	5	企画展の展示入替中も他の場所で展示を行うなど、常に新たな展示が行われている状況を作り出していた。また、耕心館との連携事業として両館にまたがる展示なども実施された。
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	5	展示室ごとに来館者アンケートを設置、各イベントについても全てアンケートを実施し集計を行っている。改善点の指摘については、対応可能なものは迅速に対応した。「館内が清潔で、コロナ対策も十分で安心して参加・観覧できた」とのお声を多くいただいた。	5	館内各所にアンケートの設置、また各事業実施の際にもアンケートを実施している。集計結果は毎月の報告会にて行政側にも共有されている。
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	適切に実施	5	適切に実施されている。
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・経費の状況は適正か。など	5	適切	5	経費の状況は適正である。